

2021年9月15日

最近の長野県経済の動向 (月例調査)

2021年6、7月の経済データを基に、長野県内の景況を把握したものです。

概 要

全国景気	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にある中、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している
長野県内景気	厳しい状況にあるが、持ち直しの動きが続いている
6月の生産動向	生産は増加している
7月の個人消費	乗用車新車販売は2カ月連続で前年を下回る
7月の公共投資	公共工事保証請負額は2カ月連続で前年を下回る
7月の住宅投資	新設住宅着工戸数は4カ月ぶりに前年を上回る
7月の雇用情勢	有効求人倍率は11カ月連続で前月を上回る
今後は、新型コロナ変異株による経済への影響を注視する必要がある	

照会先

一般財団法人 長野経済研究所 調査部

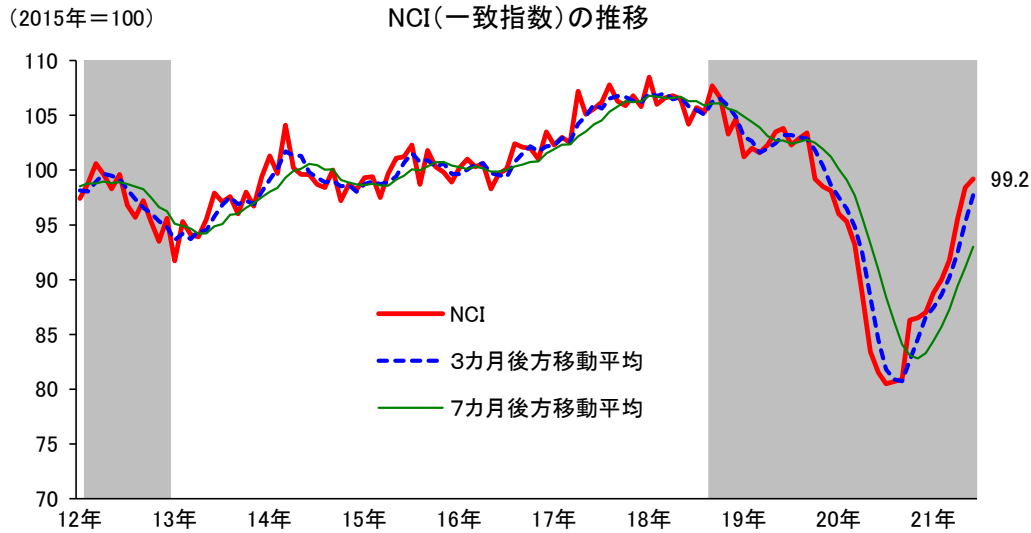
担当 桑井、中村

電話 026-224-0501

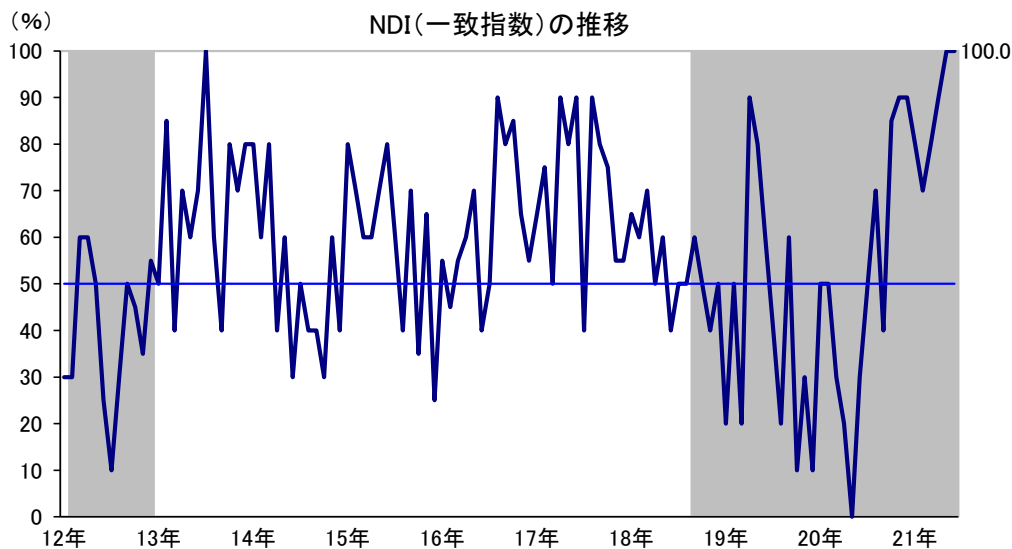


景気動向指数

- ・6月のNCI(一致指数)は、99.2と前月と比較し+0.8ポイントとなった。3カ月後方移動平均は同+2.5ポイントと9カ月連続で上昇し、7カ月後方移動平均は同+1.9ポイントと7カ月連続で上昇した。NCI(一致指数)は、改善を示している。
- ・NDI(一致指数)は、100.0%となり、景気判断の分かれ目となる50.0%を9カ月連続で上回った。



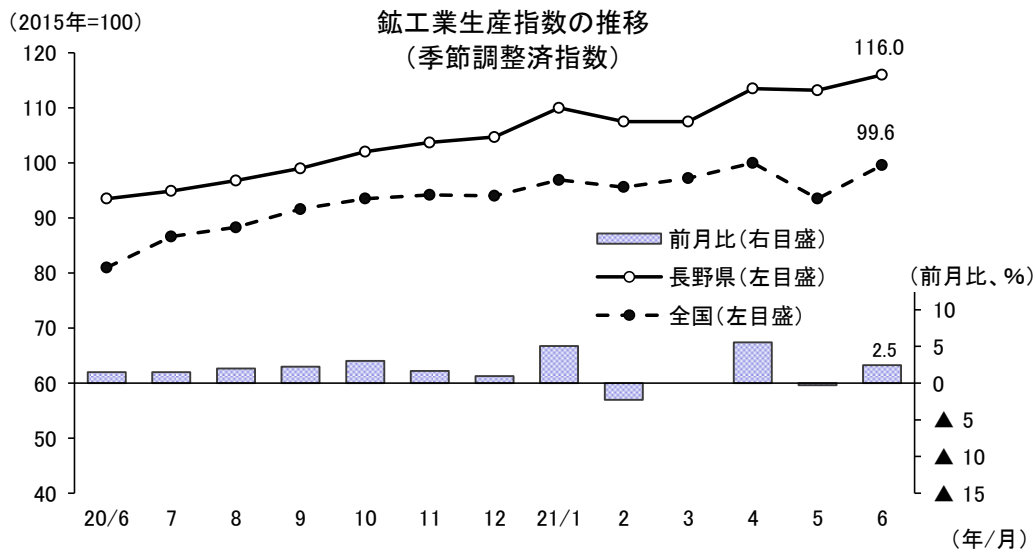
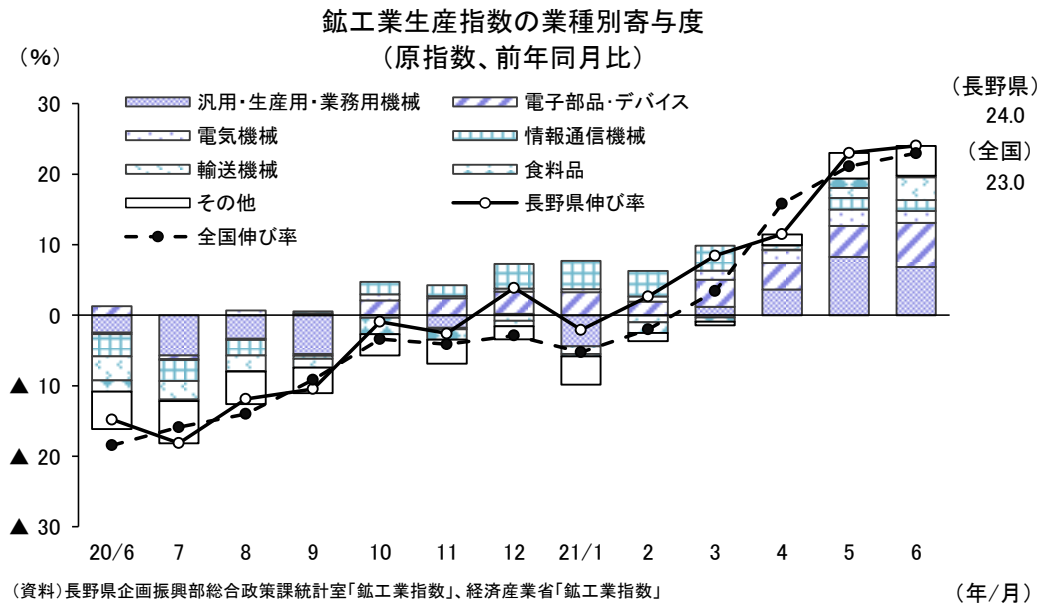
(資料)当研究所「長野県景気動向指数」
 注1.NCIは長野県の景気変動の大きさやテンポ(量感)を示す
 注2.シャドー部分は長野県の景気後退期を示す



(資料)当研究所「長野県景気動向指数」
 注1.NDIは長野県の景気の方角、波及度合いを示す
 注2.シャドー部分は長野県の景気後退期を示す

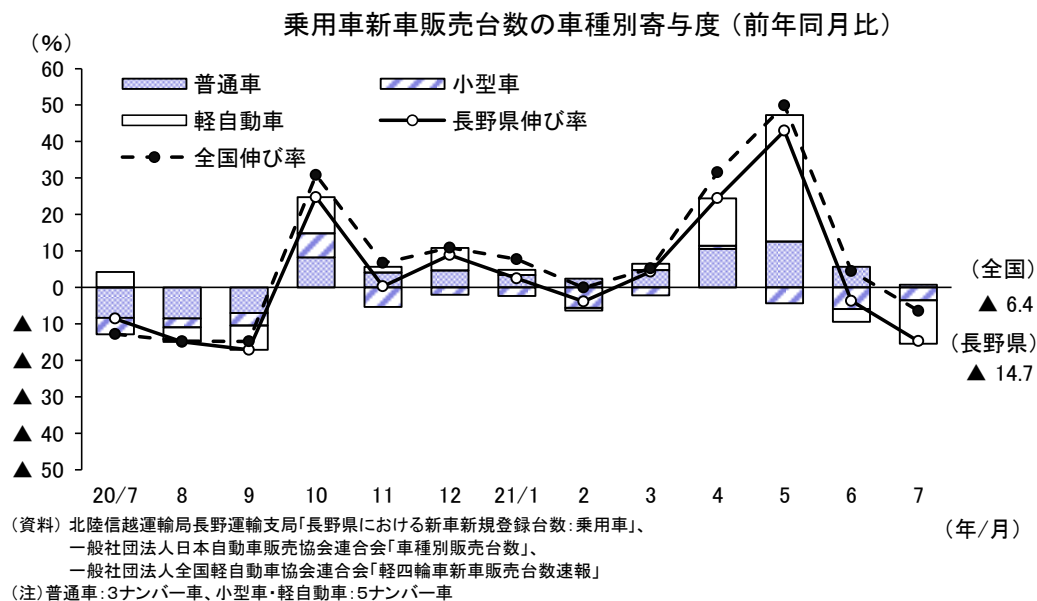
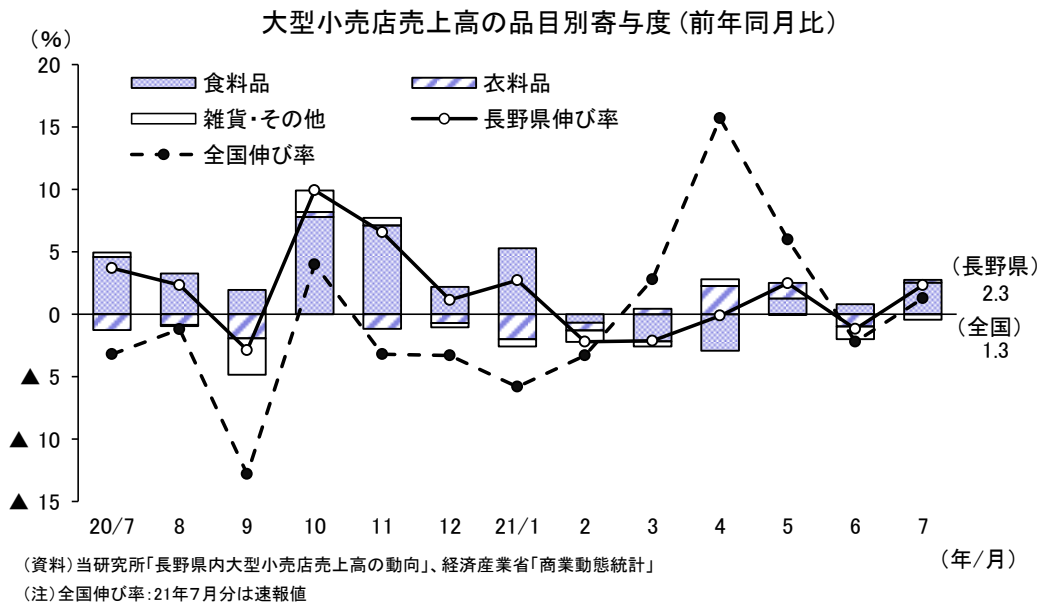
生産は増加している

- ・6月の鉱工業生産指数は、原指数が前年同月比+24.0%、季節調整済指数が前月比+2.5%となった。
- ・原指数は5カ月連続で前年を上回り、季節調整済指数も2カ月ぶりに前月を上回った。中国や米国を中心とした外需の増加や内需の持ち直しにより、生産は増加している。
- ・主要業種別にみると、圧縮機、油圧・空気圧器や産業用ロボット等の「汎用・生産用・業務用機械」、電子部品等の「電子部品・デバイス」、自動車部品等の「輸送機械」など、全ての業種で前年を上回った。



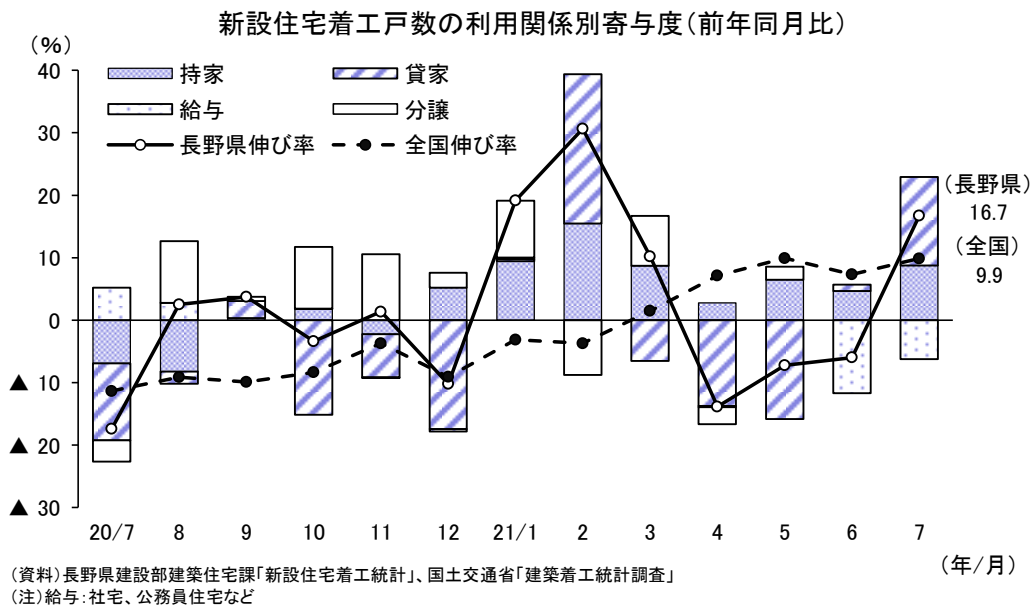
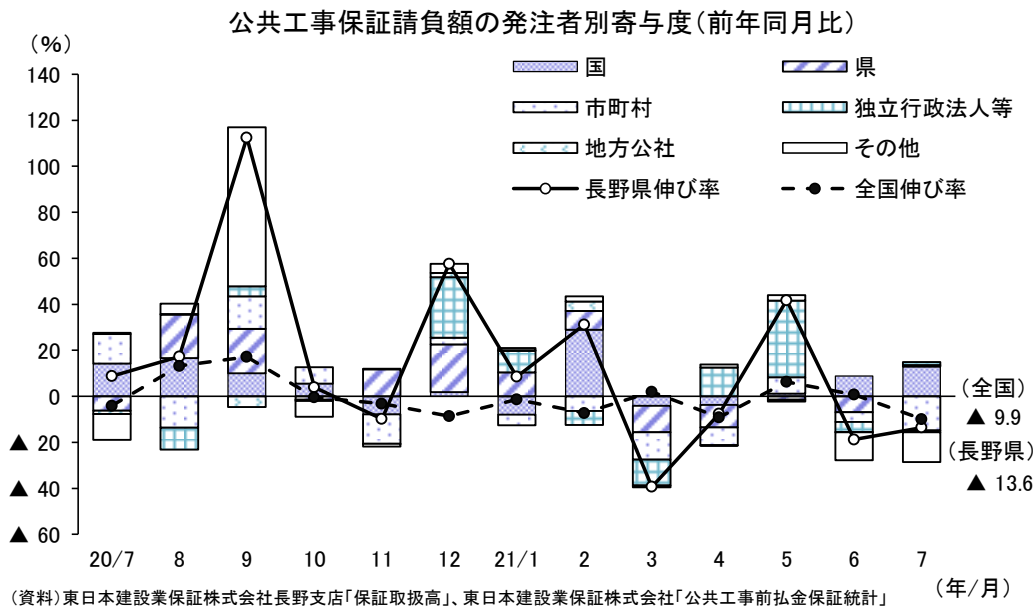
乗用車新車販売は2カ月連続で前年を下回る

- 7月の大型小売店売上高は、前年同月比+2.3%（売場面積調整前）となり、2カ月ぶりに前年を上回った。食料品は、新型コロナウイルス感染防止のための内食需要が続いているほか、飲料などの売り上げが増加し、同+3.0%となった。衣料品は、前年より梅雨明けが早かったことなどにより夏物の売り上げが増加し、同+4.5%となった。雑貨・その他は、化粧品などが振るわず同△4.1%だった。
- 7月の乗用車新車販売は、半導体部品の不足による納車遅れの影響がみられ、前年同月比△14.7%と2カ月連続で前年を下回った。普通車は同+2.6%と10カ月連続で前年を上回ったが、小型車は同△13.1%と3カ月連続で、軽自動車は同△26.0%と2カ月連続で前年を下回った。



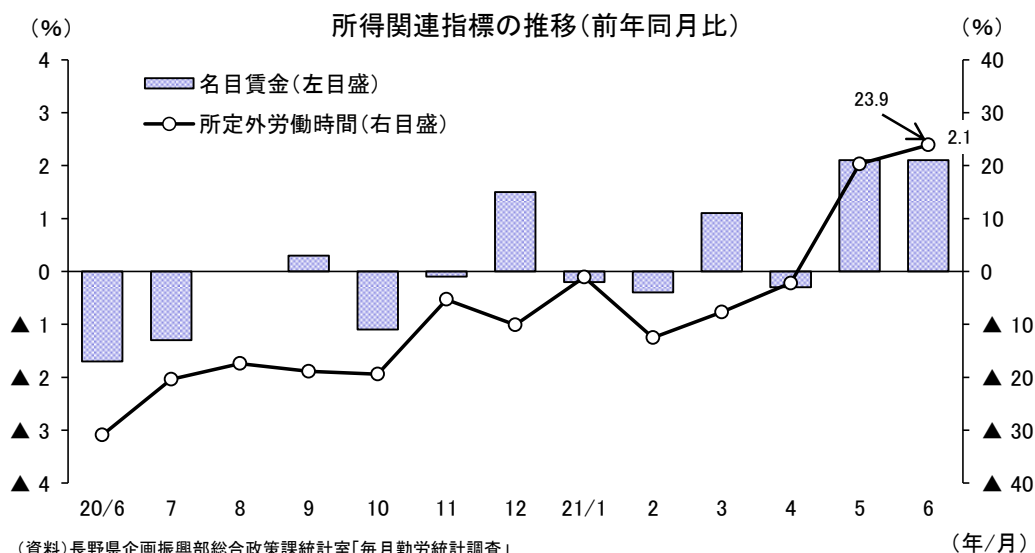
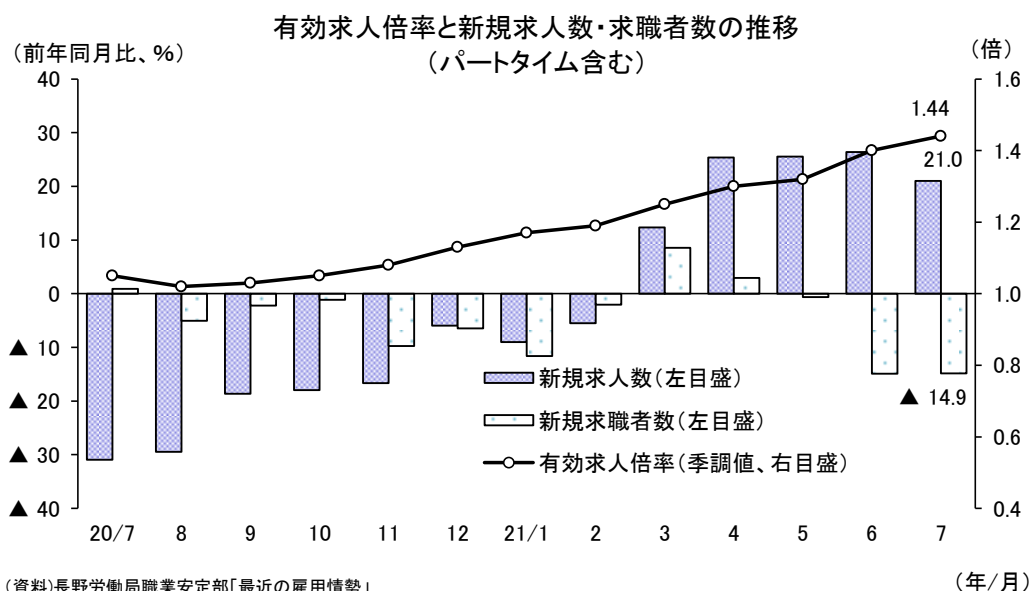
公共工事保証請負額は2カ月連続で前年を下回る

- 7月の公共工事保証請負額は、前年同月比△13.6%の237億3,200万円となり、2カ月連続で前年を下回った。発注者別にみると、国が同+56.9%、県が同+2.6%、独立行政法人等が同+63.9%と増加したものの、市町村が同△40.9%、地方公社が同△72.1%、その他が同△96.9%と減少した。
- 7月の新設住宅着工戸数は、前年同月比+16.7%の1,159戸と4カ月ぶりに前年を上回った。利用関係別にみると、給与が同△98.4%と減少したものの、貸家が同+67.5%、持家が同+14.8%と増加した。



有効求人倍率は11カ月連続で前月を上回る

- ・7月の有効求人倍率は前月比+0.04ポイントの1.44倍と、11カ月連続で前月を上回った。
- ・新規求人数(全数)は前年同月比+21.0%となり、5カ月連続で前年を上回った。このうち常用は同+23.0%、パートは同+9.5%となった。主要産業別では、製造業が同+85.6%、医療・福祉が同+6.5%、建設業が同+3.9%、宿泊業・飲食サービス業が同+2.1%と前年を上回ったが、卸売業・小売業が同△11.4%と前年を下回った。
- ・新規求職者数(全数)は、前年同月比△14.9%と3カ月連続で前年を下回った。
- ・6月の名目賃金は前年同月比+2.1%と2カ月連続で前年を上回り、所定外労働時間も同+23.9%と2カ月連続で前年を上回った。



(注)1. いずれも従業員規模5人以上の共通事業所のみを集計
2. 名目賃金の前年同月比は、きまって支給する給与の実額比較による

県内地域別・近隣都県別有効求人倍率

全ての職業安定所で1倍を上回る

- 7月の地域別有効求人倍率(全数)は、北信が前年同月比+0.25ポイントの1.32倍、東信が同+0.38ポイントの1.42倍、中信が同+0.31ポイントの1.24倍、南信が同+0.49ポイントの1.37倍となった。3カ月連続で全ての地域で前年を上回った。
- 職業安定所別有効求人倍率(全数)は、全ての職業安定所で1倍を上回り、前年同月比でも全てで上回った。
- 長野県の有効求人倍率は10カ月連続で全国を上回り、順位は前月から3つ上げ6位となった。

長野県職業安定所別有効求人倍率(実数値)(21年7月)

地域	北 信(1.32) (前年同月比0.25)				東 信(1.42) (前年同月比0.38)		中 信(1.24) (前年同月比0.31)			南 信(1.37) (前年同月比0.49)		
	長野	篠ノ井	飯山	須坂	上田	佐久	松本	木曾福島	大町	飯田	伊那	諏訪
全 数	1.36	1.30	1.20	1.30	1.35	1.49	1.24	1.79	1.06	1.41	1.39	1.32
前年同月比 (ポイント)	0.15	0.34	0.23	0.43	0.39	0.35	0.29	0.34	0.39	0.51	0.69	0.29
うち常用	1.22	1.26	1.15	1.18	1.12	1.37	1.04	1.66	0.99	1.28	1.18	1.24
前年同月比 (ポイント)	0.08	0.31	0.20	0.35	0.25	0.31	0.18	0.34	0.36	0.49	0.52	0.28

(資料)長野労働局職業安定部「最近の雇用情勢」

(注)実数値とは、新規学卒を除きパートタイムを含む季節調整前の原数値

